

石岡のおまつり

常陸國總社宮例大祭

年番 香丸町

令和7年

9月13日～15日



聖徳のまなざし、祭りを導く

石岡のおまつり（常陸國總社宮例大祭）が、9月13日から15日にかけて開催されました。今年のおまつりは、3日間で53万1000人が訪れ、中心市街地はおまつりを待ち望んでいた多くの人々で賑わいました。

今年の年番町は「香丸町」。山車1台を保有しており、山車人形には聖徳太子が乗せられています。香丸町は、府中六名家の1つである香丸氏に由来し、戦国期は府中城の一郭でした。慶長年間の府中平村成立時の町立てで形成され、近世中期以降は府中13町の1つで香丸組に属しました。

3日間、おっしゃい隊の力強い掛け声と参加者の歓声が響き渡り、出し物による見事な舞が華を添えました。市内は熱気に包まれ、子どもから大人まで多くの人が目を輝かせながら祭りを楽しむ姿が見られました。

最終日には、無事年番町引継ぎが終了し、香丸町から年番の櫓が繋がりました。

来年の年番町は「森木町」です。





石岡のおまつり ショート動画公開中

石岡市公式YouTubeにて令和7年度石岡のおまつりショート動画を公開しています。今年のおまつり3日間の様子を実際に感じる事ができますので、二次元コードを読み込み、ぜひご覧ください。

※二次元コードはこちらから▼



来年の年番町「森木町」

来年の年番町は「森木町」。
森木町は、山車1台と梟獅子1台を保有する町内です。
山車人形には、学問の神である「菅原道真公」が乗せられており、三村流隼子が特徴です。